





晴雨 一千百十 吉 進學 一千百二十 中

天雨問晴天必晴
 晴夫問雨々難成
 若望雨時見亥子
 晴多雨少數分明
 入學白之此數矣
 文書官鬼雨相交
 功名二字誠難薦
 卯午之年奪錦標

乃よあめをれり
 晴夫問雨々難成
 若望雨時見亥子
 晴多雨少數分明
 入學白之此數矣
 文書官鬼雨相交
 功名二字誠難薦
 卯午之年奪錦標

晴月

贅

一千

三百

四十

大吉

鬼人持世未和諧

人贅求婚莫妄為

只可回頭尋別姓

免教成後惹悲哀

文書官鬼兩星明

考試官負必稱心

吏考本身官首選

文人台此頭才名

いりいりとうま

いりいりとうま

いりいりとうま

いりいりとうま

いりいりとうま

いりいりとうま

いりいりとうま

いりいりとうま

招

一千

五百

二百

吉

招婿誠心來起數

烏知此事有反覆

應來生世他望成

成後家中望不足

連年命蹇固非宜

人旺財與值此時

發福起家多順益

貴人遇此得行持

いりいりとうま

いりいりとうま

いりいりとうま

いりいりとうま

いりいりとうま

いりいりとうま

いりいりとうま

いりいりとうま

いりいりとうま

壽 數 一 千 七 百 七 十 大 凶 一 千 二 百 一 十 吉

天 山 遜 數 問 天 年
衣 祿 平 平 謹 不 慳
刑 害 幾 番 多 見 過
青 山 遍 野 落 花 殘
文 書 官 鬼 旺 門 庭
許 宴 賓 與 見 利 名
火 土 流 年 端 不 悞
今 秋 此 去 恐 難 登

わんしんしんのからうが
かどくまこととよ
まろひちんどの
なりやと
いびくわまら
にわ
のうらたえらり
めらうがどしり
ぐりんのうく
ぞととら
なあがりんふら
いり
わまらととら
まふのかりび

一 千 二 百 一 十 吉 一 千 二 百 一 十 凶

遷 移 端 牛 遊 君 心
福 德 星 強 利 録 深
移 向 西 南 財 氣 旺
巷 添 錦 上 喜 津 々
兄 弟 抱 病 主 牽 延
脊 痛 心 痛 寒 熱 煎
秋 冬 度 幾 無 大 害
夏 時 秋 令 要 防 閑

せとくそととら
らうらうらうら
うく
しとらうらうら
びら
まやうがひのやま
ひまうら
かひととら
らんらあり
わとらわらうら
あれとらうら
らうらうらうら

病婦 一千三百三 中 病婦 一千三百四 丙

子孫歸應福神強
 妻妾白之終不妨
 世應相和元足忌
 庚辰壬戌稍安康
 水父生鬼病難醫
 父母災星要保持
 宿愿也須當了却
 一旬半月看何如

おのひま
 まよりののち
 ひろくし
 ひとし
 めい
 ちり
 ちり
 ちり
 十日十五日の
 ちり

屋敷 一千二百五 吉 家成 一千二百六 中

應來生世宜成就
 買屋台之得遂情
 富貴榮華從此始
 兒孫端擬白姓名
 是非口舌見重々
 家若分時恐未封
 且是寬心一二載
 年逢虎兔可相從

ゆびとく
 のま
 ちり
 ちり
 ちり
 ちり
 ちり
 ちり

清明

青月

病 亥 千 吉 田 吉 千 百 十 凶

數白子女慈無妨
福相天醫兩事強
亥子壬癸日漸好
祈神作福保安康
買田白此不爲安
差重糧多莫妄干
柳且鬼爻應世位
要知及覆幾多端

病者之憂
子孫之福
天醫之術
兩事之強
祈神之靈
作福之安
保安之康
買田之利
不爲之安
差重之糧
莫妄之干
柳且之鬼
爻應之位
要知之端

求財 千 百 十 善 借 千 百 吉

求財宜緩不宜急
謀望宜少不宜多
寅卯甲乙三分利
急求多望恐難遭
借人錢財問神靈
托友相干便得成
亥子丑日財人動
去借忘永遂介心

求財之宜
謀望之少
寅卯之利
急求之難
借人之靈
托友之成
亥子之動
去借之心

生買 二千三百三 吉 開 一千三百四 中

白買牛馬數中良
世高天下子孫強
定然買得如君意
牛犢多生騾馬昌
開店台之主大身
妻則臨世旺星明
春令夏時多吉慶
如云冬季便中平

うしひまてふたけ
とらんとらんトヤ
くはんとらんトヤ
らんトヤトヤ
らんトヤトヤ
らんトヤトヤ
らんトヤトヤ
らんトヤトヤ
らんトヤトヤ
らんトヤトヤ

生意 一千三百五 中 備 一千三百六 吉

生意台之數最宜
應知世位有扶持
雖然利息平々過
去後滔々沒是非
此數君台放債宜
管教日後不差池
秋令得利無煩惱
任意施之不用疑

あささういしとら
しとらとらあり
うらとらとら
うらとらとら
うらとらとら
うらとらとら
うらとらとら
うらとらとら
うらとらとら
うらとらとら

凶 八千 三百 物 中 七千 三百 坑 城

夏 秋 義 取 別 左 實 白
令 冬 盡 物 尋 右 主 填
春 二 情 取 乾 有 土 龍
時 季 窮 財 巽 坑 無 脈
且 無 始 先 亨 還 不
耐 推 有 覺 采 有 為
煩 却 還 難 葉 破 佳

夏の令春時且耐煩
秋の冬二季無推却
義の盡情窮始有還
取の物取財先覺難
別の尋乾巽亨采葉
左の右有坑還有破
實の土無情不足誇
白の填龍脈不為佳

凶 二 千 百 一 千 吉 一 十 百 千 種 田

徒 有 可 子 知 時 種 財
勞 館 柰 孫 君 雨 作 臨
心 被 柰 孫 命 雨 作 臨
力 人 時 人 無 運 時 時 田 亦
枉 侵 人 飛 位 合 晴 天 十 有
奔 奪 語 兩 通 天 倍 收
馳 去 施 書 亨 意 增 成

徒の勞心力枉奔馳
有の館被人侵奪去
可の柰時人飛語施
子の孫無位兩文書
知の君命運合通亨
時の雨時晴天意好
種の作田十倍增
財の臨亦位有收成

求子 四千 三三 負 行 四 四 四 一 凶

子遲子早命中招
且自安心莫要焦
命運之年遇尅害
他年仙菓結蟠排
此行台此恐非宜
不須妄動且遲々
世位逢坤多阻隔
兄弟臨門有是非

子とそくちうの
とそくちうの
とそくちうの
とそくちうの
とそくちうの
とそくちうの
とそくちうの
とそくちうの
とそくちうの
とそくちうの

天 一千 五百 五十 吉 一 四 六 六 凶

桃李笑春風
天花艶々濃
堆桃千歲熟
切怕五更風
人生禍福有先知
夢寤無遺捨不冝
家下間兆併破耗
安心守已待明時

たうそくのうの
とそくちうの
とそくちうの
とそくちうの
とそくちうの
とそくちうの
とそくちうの
とそくちうの
とそくちうの
とそくちうの

清明

清明

七

一 千 四 百 七 十 七 吉 一 千 四 百 一 十 八 悔

君為官司來起數
定知多得貴人緣
官事亥子丑日散
雲開雨歇見青天
鬼爻臨勢定生官
口舌間非洵有干
凡事只宜加護省
退身避位免傷殘

君の官の起るに
定めて多し貴人の縁
官事の亥子丑の日散
雲の開く雨の止む
鬼の爻の臨む勢の定む
口の舌の間非の洵有る干
凡の事の只宜の加護の省
退の身の避の位の免の傷の殘

一 千 五 百 一 十 善 一 千 五 百 一 十 貴 一 千 五 百 一 十 善 一 千 五 百 一 十 善

不出官時事不完
出得官時有幾舛
多要破財免驚恐
夏時占此度無干
白求見貴事如何
一見忘知意氣和
財利重々端有望
始知神斷不差訛

出づる官の時事不完
出づる官の時事有幾舛
多し要る破る財免驚恐
夏の時占此の度無干
白く求むる見貴事如何
一見して忘るる知意氣和
財利の重々端の有望
始知神斷不差の訛

青月

吉 狀

妻財臨位尅文書

今之ぬとるらん

吉 一 千

告狀白之終不如

はげすらんばう

吉 三 十

三番兩次無作主

ニ交ニ交ナシニガ

吉 三 十

不如收拾且歸與

ねえりていんさるか

吉 一 千

喜解錢糧喜太平

うりぬいとーて

吉 一 千

六欠無鬼無憂驚

ふいあ

吉 四 十

上下貴人皆得利

と下ニまゝくを

吉 四 十

完官忘有利迴程

やうりりあふ

吉 一 千

起造憑君占此數

つりちあうあふ

吉 五 百

財欠重見十分高

十ぶんう

吉 五 十

兄臨世位多幫助

人のまじけり

吉 五 十

過後漸知時運交

すまらうてうんの

吉 一 千

子孫臨位數為奇

やくとあげてちり

吉 五 百

脫役求之得所宜

うりしあを

吉 六 十

當道貴人須囑托

きんこをまを

吉 六 十

免交名利若奔馳

まらうとあをうけ

清月

蠶

妻財旺相子孫旺

君求蚕桑不可增

吉

防過三眠無滯氣

定然財帛貯箱盈

狀

訴狀占主有逆情

文書官鬼兩分明

一千

四官反覆蠲賊罪

方信瑯琊數頭靈

置

此數君占置貨宜

文書官鬼兩星明

一千

急々前途去覓利

遲々財氣便中平

善

阻節重人未得安

尋人占此沒相干

一千

世位尅忘無從實

只宜緩々莫心煩

吉

通

脫貨

一千六百三十

吉

和事

一千六百四十

平吉

數内兩重財

脫貨事和諧

青龍忘人動

歩々長財來

欠書官鬼見重々

和事忘知不遂情

此事定知多反覆

只宜退步免憂驚

清

廿

求婚

一千六百五十

吉

坐產

一千六百六十

吉

求婚數主十分宜

官鬼妻財兩見之

更值冰人願取力

定教舉齊案効眉

學育何如吉與凶

臨盆切恐有虛驚

寅卯亥白起此數

本產男兒安女身

此のまゝなり

官鬼のまゝなり

氷人のまゝなり

定教のまゝなり

學育のまゝなり

臨盆のまゝなり

寅卯のまゝなり

本産のまゝなり

清

廿

變

一千六百七十

善

取

一千六百八十

善

交易之數起最宜

應知世位有扶持

雖然生息平々獲

信主成交沒是非

取妾數中有未然

木欠不見每焚煎

安能蘭蕙忘佳夢

相逢虎鬼始周旋

うりうりの

さしひかり

びんごうごう

まごうごう

さるり

さるり

さるり

さるり

謀

一千七百一

凶

家

一千七百二

凶

鬼人持世未為音

謀望酒知未見機

秋冬時令應可就

夏春干季尚遲疑

家信來時在巳年

家中大小喜平安

勸君急辨歸程計

秋冬眼望々將穿

くさくさ

のぞく

あきあき

あきあき

あきあき

あきあき

あきあき

あきあき

晴明

問功

一百七十

吝

求官

一千七百四十

吉

貢納功名要斟酌

文書無位免勞心

莫真此數多留戀

只恐成時有反侵

求官起數最為高

財旺官生福祿饒

秋令冬時多權印

夫貴妻封立聖朝

みづからとてしるる

んごうくはるるは

ひくくしとては

とてしるるは

とてしるるは

とてしるるは

とてしるるは

とてしるるは

改更

一千七百五十

吉

謝

一千七百六十

吉

用則行之不必疑

迂移從此出幽居

只恐中間有見阻

莫聽傍人講是非

謀差特地問神仙

會見求謀得遂心

當道貴人皆有助

此行端的獲收成

あつてしるるは

あつてしるるは

あつてしるるは

あつてしるるは

あつてしるるは

あつてしるるは

あつてしるるは

あつてしるるは

進街

七十

吉

七十

七十

八十

飛

君今立意入公門

福相神靈捨稱心

秋令冬時財祿旺

夏春疑滯若生噴

數白進婢進人丁

福相祿星臨喜盈

雖是日前見阻隔

後來稱意好收成

君今立意入公門
に物余りある心

福相神靈捨稱心
あはれなりとくは

秋令冬時財祿旺
秋あせり

夏春疑滯若生噴
あつちかた地

數白進婢進人丁
りさかひり

福相祿星臨喜盈
とすくむる

雖是日前見阻隔
まろがんの

後來稱意好收成
とくは

回

八十

吉

宅

八十

半

回卿起數主平安

福相財神兩事全

伴侶也知逢貴客

路程多喜沒憂煎

家宅重々見是非

破財疾病有此兇

感得福神多助力

及逢冬節更相宜

回卿起數主平安
ことかへん

福相財神兩事全
あつちかた

伴侶也知逢貴客
とくは

路程多喜沒憂煎
あつちかた

家宅重々見是非
あつちかた

破財疾病有此兇
あつちかた

感得福神多助力
あつちかた

及逢冬節更相宜
あつちかた

命 一

八百

三十

三

脫失

一千

八百

四十

四

醫

一千

八百

五十

五

大

吉

日月數果明是奇

君台合夥任施為

兄幫弟助生涯奸

不聽狐疑是與非

應來生世福神傷

財物失却空掛勝

內外二人分將去

勸君捨下莫思量

求醫服藥有何妨

世應相生壽更長

東南扁鵲能醫治

大限無復何用慌

君問行人何日還

世臨三位尚遲延

直至庚辛及子月

方教獲利轉家園

あつたれらるる

あつたれらるる

あつたれらるる

あつたれらるる

あつたれらるる

あつたれらるる

あつたれらるる

あつたれらるる

あつたれらるる

あつたれらるる

あつたれらるる

あつたれらるる

あつたれらるる

あつたれらるる

あつたれらるる

あつたれらるる

病犯

一千八百七十

吉

驚

一千八百八十

吉

自身抱病不為凶

可奈君家運不通

秋後冬時得安穩

福生悔散自從容

守舊事還隆

体怕浪裏逢

不利在目下

到後福相同

自身抱病不為凶
可奈君家運不通
秋後冬時得安穩
福生悔散自從容

自身抱病不為凶
可奈君家運不通
秋後冬時得安穩
福生悔散自從容

自身抱病不為凶
可奈君家運不通
秋後冬時得安穩
福生悔散自從容

自身抱病不為凶
可奈君家運不通
秋後冬時得安穩
福生悔散自從容

自身抱病不為凶
可奈君家運不通
秋後冬時得安穩
福生悔散自從容

自身抱病不為凶
可奈君家運不通
秋後冬時得安穩
福生悔散自從容

自身抱病不為凶
可奈君家運不通
秋後冬時得安穩
福生悔散自從容

自身抱病不為凶
可奈君家運不通
秋後冬時得安穩
福生悔散自從容

病

一千一百一十

吉

買

一千二百二十

吉

兄弟抱病也無妨

父母重々兄弟強

作福祈神保康徒

庚申辛酉可離牀

買田起敷々中高

中正逢相主就文

世位福神涉旺相

膏腴之產享肥饒

兄弟抱病也無妨
父母重々兄弟強
作福祈神保康徒
庚申辛酉可離牀

兄弟抱病也無妨
父母重々兄弟強
作福祈神保康徒
庚申辛酉可離牀

兄弟抱病也無妨
父母重々兄弟強
作福祈神保康徒
庚申辛酉可離牀

兄弟抱病也無妨
父母重々兄弟強
作福祈神保康徒
庚申辛酉可離牀

兄弟抱病也無妨
父母重々兄弟強
作福祈神保康徒
庚申辛酉可離牀

兄弟抱病也無妨
父母重々兄弟強
作福祈神保康徒
庚申辛酉可離牀

兄弟抱病也無妨
父母重々兄弟強
作福祈神保康徒
庚申辛酉可離牀

兄弟抱病也無妨
父母重々兄弟強
作福祈神保康徒
庚申辛酉可離牀

賞 二百 三十 凶 二千 四十 凶

隙角空逢數未究
君占買屋有難數
中人反覆无定價
不如捨此別尋看
子女星明信有之
五行耐耐莫憂疑
寅午戌日灾星退
祈神作福保無虞

隙角空逢數未究
君占買屋有難數
中人反覆无定價
不如捨此別尋看
子女星明信有之
五行耐耐莫憂疑
寅午戌日灾星退
祈神作福保無虞

父母病 二千 一百 五十 吉 二千 一百 六十 吉

父母延纏病不安
欲占神數問神僊
父父上見主無事
保得安全尋老夫
數起遷移計稱心
定知迁後福臻々
目下体務防口舌
遲々移動莫因循

父母延纏病不安
欲占神數問神僊
父父上見主無事
保得安全尋老夫
數起遷移計稱心
定知迁後福臻々
目下体務防口舌
遲々移動莫因循

清明

家

二百

七十

小吉

病

二百

八十

全吉

分家未許逆君心

應位逢兄官鬼生

但是不生鏡古敵

且宜守耐到來春

木父持世益妻災

妻病無妨慢々挨

產鬼傷亡宜速送

須逢亥子日輕來

あつたてまつりて

まゝのまゝまつりて

あつたてまつりて

あつたてまつりて

あつたてまつりて

あつたてまつりて

あつたてまつりて

あつたてまつりて

家宅

二百

一十

大吉

守

二

二百

凶

子孫持世福神生

家宅白之太吉興

秋冬二季財祿旺

春夏飛悔略隄防

心事重々无數

一時難盡難言

欲得依然守舊

果然守舊事難

あつたてまつりて

あつたてまつりて

あつたてまつりて

あつたてまつりて

あつたてまつりて

あつたてまつりて

あつたてまつりて

あつたてまつりて

青月

七

求醫

求醫不必占

いづれにんか
いづれにんか
いづれにんか

二百

災消福自添

いづれにんか
いづれにんか

三十

服藥龍虎後

いづれにんか
いづれにんか

吉

朦朧月每圓

いづれにんか
いづれにんか

病

自身疾病遇既落

いづれにんか
いづれにんか

二百

骨痛身疼鬼崇侵

いづれにんか
いづれにんか

四十

若望好時多作福

いづれにんか
いづれにんか

耐

耐心保養免生嗔

いづれにんか
いづれにんか

矢脱

財物矢脱不須愁

いづれにんか
いづれにんか

二千

内敷藏財可急挾

いづれにんか
いづれにんか

五

寅午戌日見分曉

いづれにんか
いづれにんか

五

賊人只在眼中求

いづれにんか
いづれにんか

回

回卿起數未為宜

いづれにんか
いづれにんか

二千

外敷逢凶有是非

いづれにんか
いづれにんか

六十

且自安心体妄動

いづれにんか
いづれにんか

六

不依數斷見災危

いづれにんか
いづれにんか

凶

不依數斷見災危

いづれにんか
いづれにんか

人行

二千
七百

吉

駭命

二千
八百

吝

應來生世他與我

君問行人必定來

辰戌丑日迎門笑

人到財歸示快哉

鬼爻持世不為高

數中合夥也徒勞

久後爭差多不足

不如休合自官謀

うらやまらん人さきうら

うらやまらん人さきうら

うらやまらん人さきうら

うらやまらん人さきうら

うらやまらん人さきうら

うらやまらん人さきうら

うらやまらん人さきうら

うらやまらん人さきうら

親貴

二千
三百

善

狀

二千
三百

吉

欲見貴人須託人

鬼爻臨動主操心

應生世位終得見

不必狐疑以進身

前辨應知得遂行

子孫持世福神興

寅午戌日文動書

後々還官罪減輕

うらやまらん人さきうら

うらやまらん人さきうら

うらやまらん人さきうら

うらやまらん人さきうら

うらやまらん人さきうら

うらやまらん人さきうら

うらやまらん人さきうら

うらやまらん人さきうら

清規

起屋

君古起造離為數

いふ事なきとす

二千

數在離明任興作

つらうあやう

三百

歲逢之然有此兒

あつあつあつ

三十

立意興造何須怕

あつあつあつ

吉

蚕々多成繭

あつあつあつ

二千

繭々定成絲

あつあつあつ

三百

全憑人力壯

あつあつあつ

四十

大困要扶持

あつあつあつ

四

鬼父持世有爭差

あつあつあつ

二千

収解錢粮捻不佳

あつあつあつ

三百

若不小心加謹督

あつあつあつ

五十

定然刑耗兩相加

あつあつあつ

五

此數見官恐不成

あつあつあつ

見官

鬼父不見枉勞心

あつあつあつ

二千

文書受制事纏繞

あつあつあつ

六百

私下營謀保太平

あつあつあつ

六

私下營謀保太平

あつあつあつ

德脱

二千三百七十

告

狀

二千三百八十

吉

卸役應知未遂心

貴人不故事紛々

只宜謹春加斟酌

妄求得脱到來春

告狀起數風山漸

文書應位喜扶持

世位高下他生我

告准親提决稱心

かこてあはて

いふんやうなま

いふんやうなま

いふんやうなま

いふんやうなま

いふんやうなま

いふんやうなま

いふんやうなま

家信

二千四百一十

吉

詩

二千四百二十

若

家信重々已附來

若逢已午一封開

家中无事俱平穩

不必憂疑且放懷

婦妹之數子孫藏

白詩奴婢未為良

討後終須見口舌

若非走失定傷亡

いふんやうなま

いふんやうなま

いふんやうなま

いふんやうなま

いふんやうなま

いふんやうなま

いふんやうなま

いふんやうなま

更改

二百四

三百

小吉

建衛門

二千

四百

四十

小凶

幾番花幾幾番陰

今日風清柳色新

莫要白白蹉跎遇

更改從今作事亨

八純震數問跟官

才鬼逢冲不得安

只管修為當好運

雖然清淡也安間

文書有氣世求官

數內求官洵不難

貴人有動才名顯

秋令冬時步向天

謀望未能如所願

只宜安分其他為

若然不信神仙斷

會見无成有是非

りりりりりりりり

ららんらんらんらん

ららんらんらんらん

ららんらんらんらん

おのぞんとぞん

やんぞんぞんぞん

らんらんらんらん

せんのぞんぞん

げいのんぞんぞん

らんらんらんらん

らんらんらんらん

らんらんらんらん

らんらんらんらん

らんらんらんらん

らんらんらんらん

らんらんらんらん

謀 差 二千 四百 七十

吉 七十

功 名 二千 四百

書 八十 四百

學 二千 五百 一十

客 一十

咄 二千 五百

吉 二十

吉

謀差喜得有文書

世位逢官喜見知

出入平安多利祿

貴人逢着自扶持

上納功名多貴力

必須斟酌與三思

鬼欠无氣應難就

日淺還防有是非

學成學業去傳經

兄弟當權有奪爭

捨此別圖猶可就

西南方上館須成

是非口咄不須論

神強福相保安寧

中有貴人來喝散

恰如止水聽无聲

みきりりりり

しんどんさん

りそりやきりり

られあらしり

あとしりりりり

らあさんごり

りりりりり

りりりりり

りりりりり

りりりりり

りりりりり

りりりりり

りりりりり

りりりりり

りりりりり

りりりりり

りりりりり

りりりりり

清明

元五

天 花

君問天花數

君問天花のう

二十

天花數不妨

君問のう

三十

其中有此滯

君問のう

吉

保佐得安康

君問のう

結 訟

六爻无鬼最為宜

君問のう

二千

歸結官司不用疑

君問のう

五百

財破文書訟已息

君問のう

吉

財期已午笑顏廻

君問のう

行 脚

出行之數不須疑

君問のう

二千

世位高今應位低

君問のう

五十

應尅世今何足忌

君問のう

吉

重々財害遂心机

君問のう

種 賊

時晴時雨好收成

君問のう

二十

君門收成定稱心

君問のう

五百

叅社蒲場及積穀

君問のう

六 十

合家老幼感神靈

君問のう

吝

合家老幼感神靈

君問のう

清明

元五

夜夢

二千五百

七十

凶

求子

二千五百

八十

善

夜夢 蹠蹠 捻欠 祥

須防 有事 起蕭 墻

凡事 三思 斟酌 做

方見 平安 免後 殃

數中 求子 主和 情

父母 雙々 尅子 生

數定 先天 應不 謬

辰年 丑歲 產奇 英

進學

二千六百

一十

吉

舉

二千六百

二十

善

鬼臨 門戶 問求 名

入學 占數 舉逆 情

燈火 三更 勉加 勵

定然 遊泮 進豪 英

才破 文書 難上 榜

子孫 盛旺 又生 官

戊巳 二科 端有 望

郊年 午歲 且寬 心

よらのゆあはたよん
めつろしとせんとん
とつろ

くまのりくふら
とつろん

つーびー

こわんまんのら
まざりふとまらん

みとれしけん
あふろ

らくろふとま
けろ

わくろりあつ
そぞろ

さろのしーの
さんとしーの

ぐろんのあ
とのむろり

くのやうろ
わろろ

ろろのろろ
ろろろろろ

ろろろろろ
ろろろろろ

ろろろろろ
ろろろろろ

ろろろろろ
ろろろろろ

ろろろろろ
ろろろろろ

三月

三

招婿

數台招婿最為良

ひんぎんあり

二千

兄弟重々福祿長

あぐんあり

六百

夫妻和順多吉慶

あつきのあひま

三十

他年相濟好行藏

あつきのあひま

吉

水雷屯數問天年

あつきのあひま

數

上見天全數不全

あつきのあひま

吉

六々兩邊防一厄

あつきのあひま

四

數富九々恐遲延

あつきのあひま

二千

文書官鬼兩相扶

あつきのあひま

六百

考試台之稱所圖

あつきのあひま

五十

秋令冬時多薦拔

あつきのあひま

五

夏春略忌事糶糊

あつきのあひま

購

數門天晴未許晴

あつきのあひま

二千

如雲問雨々傾盆

あつきのあひま

六百

外入水旺雷應响

あつきのあひま

六十

方信先夫數又靈

あつきのあひま

悔

あつきのあひま

命運

命運何須說短長

命運何須說短長

二千

喜今命限合亨昌

喜今命限合亨昌

六百

雖然早運多連敗

雖然早運多連敗

七十

自此祿臻福亦強

自此祿臻福亦強

半吉

入贅求婚無酌醉

入贅求婚無酌醉

八十八

鬼爻臨世枉勞心

鬼爻臨世枉勞心

六百

重々謁角財遭劫

重々謁角財遭劫

八十

只可回頭別處尋

只可回頭別處尋

各

壽人占此數難尋

壽人占此數難尋

二千

且是遲々免費心

且是遲々免費心

七百

火主日午方有信

火主日午方有信

各

今朝沒處覓佳音

今朝沒處覓佳音

取

取妾之數最相宜

取妾之數最相宜

二千

才鬼同居外數奇

才鬼同居外數奇

七百

別立門庭方是安

別立門庭方是安

各

不宜大小兩同居

不宜大小兩同居

求婚

求婚之數未為遲

いざなりとそら

七百

應位逢傷有是非

いざなりとそら

三百

官鬼重重夫再見

いざなりとそら

凶

只宜退步免施為

いざなりとそら

交易

交易數主多獲利

いざなりとそら

二千

貴人助我得安諧

いざなりとそら

四百

經營遇此真奇義

いざなりとそら

吉

賣了買時還有財

いざなりとそら

和事

文書官鬼兩相生

いざなりとそら

二千

走到公庭願我們

いざなりとそら

五

不要管時休要管

いざなりとそら

悔

是非口舌免招羨

いざなりとそら

買

此數最相當

いざなりとそら

二千

財源兩事強

いざなりとそら

七

莞然成一咲

いざなりとそら

六

置貨得安康

いざなりとそら

清

六

清

三

生

子孫臨世子孫灾

子孫臨世子孫灾

二千

孕育白之喜氣生

孕育白之喜氣生

七十

巳酉丑日臨盆吉

巳酉丑日臨盆吉

生

坐草生虞喜太平

坐草生虞喜太平

脫

妻財旺相又生官

妻財旺相又生官

二千

脫貨白之稔不難

脫貨白之稔不難

八十

亥子丑日應須脫

亥子丑日應須脫

吉

貴人得力喜多錄

貴人得力喜多錄

借

子孫臨應去求財

子孫臨應去求財

二千

借人錢債稱心懷

借人錢債稱心懷

一百

申子辰日應入手

申子辰日應入手

吉

何用狐疑及妄猜

何用狐疑及妄猜

物

鬼父文書兩易交

鬼父文書兩易交

二千

數取財物狂徒勞

數取財物狂徒勞

二百

勿施急慢徒容去

勿施急慢徒容去

生

待到秋冬福自饒

待到秋冬福自饒

生意

二千八百三十

吉

坎

二千八百四十

丙

門

二千八百五十

吝

求財

二千八百六十

吉

清

三

君台生意勝當初

君台の生意は当初より勝る

憂慮全消喜自靈

憂慮は全消し喜は自ずから靈に

桃李花開須結子

桃李の花が開く時は子孫が結ぶ

下稍還有好人扶

下は少しは好い人がある

應來持世不為良

應に來て持世は良からず

遇水臨灣亦有塘

水に遇ふ灣に臨む時にも塘がある

葬後也知財不旺

葬後には財は旺かぬ

還防六畜有灾傷

還防は六畜に灾傷がある

數云開店喜非常

數に云ふ開店は喜ばぬ

世應還才福慶長

世に應じて還才は福慶長

一本定知獲大利

一本に定めて知ると大利を得

夏秋稍次々無妨

夏秋は少しづつ無妨

求財未穩稱心中

求財は未だ穩まらず心中

守舊安心莫妄于

守舊は安心し莫く妄る

父尅世父福相復

父は尅世に父の福相復

兄傷才位没多錢

兄は傷か才位は没多錢

放債

放債何真不無心

放債何真不無心

二百八十

子孫持世益千金

子孫持世益千金

七十

鬼臨應位無足忌

鬼臨應位無足忌

吉

老實中人可信憑

老實中人可信憑

買馬

買馬難逢杜費心

買馬難逢杜費心

二百八十

買牛亦主事難成

買牛亦主事難成

八十

鬼爻臨應中間阻

鬼爻臨應中間阻

買得成時也費金

買得成時也費金

買得成時也費金

守舊

向來恰似燕脚泥

向來恰似燕脚泥

三千一百

心練風霜惟自知

心練風霜惟自知

一十

數中正好安居守

數中正好安居守

大善

自然衣祿有餘盈

自然衣祿有餘盈

合

子孫持世數為吉

子孫持世數為吉

三百

合夥白之靈利益

合夥白之靈利益

二百

同心合志幹生涯

同心合志幹生涯

大善

有始有終無損失

有始有終無損失

清

三十二

魁

鬼父持世賊人強

鬼父持世賊人強

三

才空無益難為覓

才空無益難為覓

內

歸時失却如反掌

歸時失却如反掌

人

天地否數問行人

天地否數問行人

三

應位初父主及門

應位初父主及門

四

亥卯未日人未到

亥卯未日人未到

半吉

惟期辰子有佳音

惟期辰子有佳音

三

鬼父臨應病加增

鬼父臨應病加增

一

憂患將來未得寧

憂患將來未得寧

五

服藥已知無見效

服藥已知無見效

凶

只宜守舊免勞形

只宜守舊免勞形

家

家宅平安百夏宜

家宅平安百夏宜

一

勸君安分莫猜疑

勸君安分莫猜疑

六

雖然小口防飛悔

雖然小口防飛悔

吉

財祿豐盈福自隨

財祿豐盈福自隨

咳 鄉 三 百 七 十 吉 求 醫 三 百 一 十 八 吉

鬼火持世夏無成
君問回鄉且慢行
數現不如依舊動
春初夏未可安寧
一輪明月因雲蔽
好采鮮花被雨淋
更有中夫雲雨散
自然花月兩精神

鬼火持世夏無成
君問回鄉且慢行
數現不如依舊動
春初夏未可安寧
一輪明月因雲蔽
好采鮮花被雨淋
更有中夫雲雨散
自然花月兩精神

取財 三 百 一 十 吉 馬 三 百 二 十 凶

取物取財搖遂心
無煩患失自當成
雖然目下勞奔走
債得吹唄事可寧
欲求丑午問神仙
世位逢空恐不連
買得之時猶不足
歎醫求療幾時聞

取物取財搖遂心
無煩患失自當成
雖然目下勞奔走
債得吹唄事可寧
欲求丑午問神仙
世位逢空恐不連
買得之時猶不足
歎醫求療幾時聞

青月

三十五

開 三 三 百 三 吉 三 三 百 三 貴 放 吉 三 三 百 三 自

數中開府任君開
福相與隆廣進財
本少利微主意好
貴人祿馬自天來
放債應知後有非
不知不放是便宜
世高應下人強我
懷寶藏珠免被欺

清
まことおきま
まことおきま
ひろくろくま
のろくろくま
まことおきま
まことおきま
まことおきま
まことおきま
まことおきま
まことおきま

六 六 十 二 百 三 千 借 借 吉 五 五 十 二 百 三 千 貴 放 吉 三 三 百 三 自

世高應位最靈情
白築坎基喜太平
尤右重々多獲福
明堂開開好文金
借債白數殆無縁
且自遲々莫妄于
借少可圖多不有
也教開口恨周全

まことおきま
まことおきま
まことおきま
まことおきま
まことおきま
まことおきま
まことおきま
まことおきま
まことおきま
まことおきま

清

六

財 求

三千 二百 七十

吉

生 意

三千 二百 八十 吉

君占出外問求財

春令秋冬大稱懷

若是九流并藝術

許君財旺兩和諧

問主意鑿石頭王

求財源陶沙獲珠

守過去眼前目下

財自來何用躊躇

君占出外問求財

春令秋冬大稱懷

若是九流并藝術

許君財旺兩和諧

問主意鑿石頭王

求財源陶沙獲珠

守過去眼前目下

財自來何用躊躇

知 告

三十 一百 一十

凶

求 我

三十 三十 二十 負

負

是非口舌要酌量

官訟虛驚有一場

官尅應欠受責々

定知兩下見形傷

蚤年生子見形傷

目下那知有弄璋

數見先暎終得合

黃花晚景拒秋香

是非口舌要酌量

官訟虛驚有一場

官尅應欠受責々

定知兩下見形傷

蚤年生子見形傷

目下那知有弄璋

數見先暎終得合

黃花晚景拒秋香

三合六神無足忌

出行台數主平安

春夏略忌傍人語

秋令冬時遇貴綠

焚兆幸違不必違

只因俗務乱心机

若能心上無憂慎

睡卧安然夢也稀

三合六神無足忌
わらわは神あり

出行台數主平安
かこふよりしりせ

春夏略忌傍人語
まはるはくさるの

秋令冬時遇貴綠
わらわのねんあめあ

焚兆幸違不必違
まのうらまひ

只因俗務乱心机
たごいせめい

若能心上無憂慎
ふまふぬい

睡卧安然夢也稀
ねむりやせくあ

欲求

欲求歸結事如何

りくくうん

君被

君被官司久折磨

きんべい

應交

應交尅世他有理

おうえん

子傷

子傷官鬼好求和

こけが

重々

重々薦拔好門墻

おもむき

尋館

尋館占之最吉昌

ゆきだん

小狐

小狐既濟濡其尾

こきつ

剛柔

剛柔相應有何妨

ごうじゆう

吉

六

六

三

三

吉

五

五

三

三

負

四

四

三

三

吉

三

三

三

三

清明

三十七

田種

田財只許半收成

田とくつそりの
うたよまう

三千

兄弟文書事並興

ちんげまう

七

少水早靈勤併力

あまききひさ
あせかよつす

書

蚤禾不及晚禾登

はやあけしよ
まのり

天花

此數問天花

あまのり

三千

淹々滯吏佳

あまのり

八百

急忙求懺悔

あまのり

吉

保護得榮華

あまのり

取妻

取妻數起逢大壯

あまのり

四千

妻才臨應最為高

あまのり

一十

取夫早叶能罷夔

あまのり

吉

克昌厥後樂陶々

あまのり

此數

此數君台脫貨

あまのり

妻才

妻才官鬼星明

あまのり

急々

急々前途無阻

あまのり

遲々

遲々財利中平

あまのり

清明

三三

和事

頃時而動數為豊

和の申とやうく

三千

和事君來問吉凶

和の事とやうく

四百

折獄致刑利九月

九月のころ

三十

報中公道兩無容

報の公の道

生

父母臨門見孕育

父母の臨門

三千

重々才動有塵驚

重々才の動

四百

十月數利寅子曰

十月の日子

各

神前作福安保寧

神の前作福

交

買賣台逢恒數奇

買賣の台逢

三千

貴人當道見杖持

貴人の當道

四百

正月台名多利息

正月の台名

五

求財脫貨沒延違

求財の脱貨

善

數中不見有魚書

數中の不見

人

君問尋人主費心

君の問尋人

六

人在他方深灾悔

人の他方の

善

秋未冬初始得音

秋の未冬の

清明

三

津助

賈

貨物君須置

いふものことまろ
るり

三千

財源兩事興

いふわうえりまろ
とろ

七十

數中無阻滯

いふわうえりまろ
とろ

吉

遠近任君行

いふわうえりまろ
とろ

未

求婚占數不相宜

いふわうえりまろ
とろ

四百

才位重々終不知

いふわうえりまろ
とろ

八十

妄忌媒人無的實

いふわうえりまろ
とろ

善

成事還喜主重妻

いふわうえりまろ
とろ

進

再來起數討奴僕

いふわうえりまろ
とろ

三千

數中交象有不足

いふわうえりまろ
とろ

五百

父母當頭尅子孫

いふわうえりまろ
とろ

凶

若妄從時虞壽促

いふわうえりまろ
とろ

問

數問切名欲進身

いふわうえりまろ
とろ

三千

文章應位喜津々

いふわうえりまろ
とろ

五百

只干世位逢兄弟

いふわうえりまろ
とろ

悔

目下間言要小心

いふわうえりまろ
とろ

三吉

求官大忌子孫興

らんりとのがき
らんりとのがき

三吉

目下須知未益心

あのみまよりの
まよりのまよりの

三吉

破財文書官鬼滅

あのみまよりの
まよりのまよりの

内

待交冬季便知因

あのみまよりの
まよりのまよりの

三吉

文書官鬼二星明

あのみまよりの
まよりのまよりの

三吉

數起謀差央舞心

あのみまよりの
まよりのまよりの

四吉

出入財源三倍旺

あのみまよりの
まよりのまよりの

門進

路行平坦没憂驚

あのみまよりの
まよりのまよりの

三千

世高應下喜盈々

あのみまよりの
まよりのまよりの

五百

數問衙門人稱心

あのみまよりの
まよりのまよりの

五吉

發福生財起家業

あのみまよりの
まよりのまよりの

三吉

方知神數永通靈

あのみまよりの
まよりのまよりの

家信

兄弟持世兩文書

あのみまよりの
まよりのまよりの

三千

家信重々有見知

あのみまよりの
まよりのまよりの

六百

加寅亥子迎門笑

あのみまよりの
まよりのまよりの

六吉

頌倒情懷說好音

あのみまよりの
まよりのまよりの

三十

鬼交臨應有差池

いかにあつたまじ

三十

謀望須知妄費思

あつたまじのあつた

七十

事本經延休欲速

いかにあつたまじ

善

只宜緩處自相宜

いかにあつたまじ

改硬

心事幾番未遂

いかにあつたまじ

三十

夢魂風度塵驚

いかにあつたまじ

八十

慢道此生欠利

いかにあつたまじ

吉

從今更改與隆

いかにあつたまじ

三十

福神持世旺用在

いかにあつたまじ

六十

白買田園大吉昌

いかにあつたまじ

一十

應位逢財宜有益

いかにあつたまじ

舍

喜逢中正好商量

いかにあつたまじ

三十

妻病白之數二十

いかにあつたまじ

六十

寒熱相煎兼氣息

いかにあつたまじ

二十

夏秋二季尚堪延

いかにあつたまじ

負

若在冬時防不吉

いかにあつたまじ

清明

五

福壽

三千

六百

三十

吉

家分

三千

六百

四十

四

丙

來白父如免憂危

鬼父主父有光耀

辛戌巳災難星退

作福獲星須早為

鷹父越世不相宜

男女其中有是非

則下要分女不羨

來春分祈免災危

くくくくくくくくくくくく

くくくくくくくくくくくく

くくくくくくくくくくくく

くくくくくくくくくくくく

くくくくくくくくくくくく

くくくくくくくくくくくく

くくくくくくくくくくくく

子災

三千

六百

五十

五

言

病

三千

六百

六十

丙

子災女病主無妨

驚怖寒邪風食傷

作福祈禳凶煞退

庚辰丑未保安康

兄家災患少須防

腎痛心疼脾胃痛

最忌水爻多受尅

庚辛亥子謝空蒼

くくくくくくくくくくくく

くくくくくくくくくくくく

くくくくくくくくくくくく

くくくくくくくくくくくく

くくくくくくくくくくくく

くくくくくくくくくくくく

くくくくくくくくくくくく

清用

四十四

遷

三千

六百

七十

吉

巽

三千

六百

八十

凶

數問喬遷大可為

應爻生世福星陪

目下聞非須有見

多時便得好依席

數主歸魂未足奇

君占買屋有爭持

且自遲々休妄動

知云勉強見間非

知云勉強見間非

多々々々々

ウウウウウ

ウウウウウ

ウウウウウ

ウウウウウ

ウウウウウ

ウウウウウ

ウウウウウ

ウウウウウ

擧

三千

七百

一十

吝

入

三千

七百

二十

吉

才爻臨應破文書

官鬼休囚終未知

科舉白之數未穩

來科方許步雲梯

入贅求婚事可為

夫妻魚水兩和諧

人家得此棄龍婿

舉崇齊貪福壽佳

舉崇齊貪福壽佳

ウウウウウ

ウウウウウ

ウウウウウ

ウウウウウ

ウウウウウ

ウウウウウ

ウウウウウ

ウウウウウ

ウウウウウ

ウウウウウ

試考

三千
三百

吉

運

三千
七百
四十

吉

於星貴見破文書

考試占之殆不如

喜見鬼交臨應位

雖無隆賞姓名知

須知天運有宿還

又困當享理必然

命運而今逢際泰

人財與旺福綿々

本家のありあけのし
とくはあつた

うきうきとあつた
まじ

まじのありあけのし
こころあつた

まじのありあけのし
こころあつた

まじのありあけのし
こころあつた

まじのありあけのし
こころあつた

まじのありあけのし
こころあつた

まじのありあけのし
こころあつた

世

三千
七百
五十

吉

學

三千
七百
六十

吉

世逢官鬼應逢凡

聚散無常紫還風

六六數間防一阻

還慮五九一場空

學成學業未升堂

滿腹文章射斗光

小試公庭美薦拔

朱登榜洋姓名香

まじのありあけのし
こころあつた

まじのありあけのし
こころあつた

まじのありあけのし
こころあつた

まじのありあけのし
こころあつた

まじのありあけのし
こころあつた

まじのありあけのし
こころあつた

まじのありあけのし
こころあつた

まじのありあけのし
こころあつた

雨 晴

王龍尅水雨難求

あまのこころを
あまのこころを

三千

久雨白晴雨便休

あまのこころを
あまのこころを

七百

若遇久晴問天雨

あまのこころを
あまのこころを

各

一輪紅日照當頭

あまのこころを
あまのこころを

三

納婿白之事可為

あまのこころを
あまのこころを

七百

子孫持世福星奇

あまのこころを
あまのこころを

八十

水清王潤翁和馨

あまのこころを
あまのこころを

吉

勿問狐疑可與否

あまのこころを
あまのこころを

三

數心訶辨壯太書

あまのこころを
あまのこころを

八百

秋令白之伯事宜

あまのこころを
あまのこころを

一

自有貴人超拔處

あまのこころを
あまのこころを

吉

當官便見笑嘻嘻

あまのこころを
あまのこころを

告

鬼交持世未為良

あまのこころを
あまのこころを

三

告狀古來極自忙

あまのこころを
あまのこころを

二百

貴人不肯強作主

あまのこころを
あまのこころを

吉

若有人和了強

あまのこころを
あまのこころを

晴明

四十七

三千八百

三十

吉

脫

三千八百四十

吉

叔解錢根遇貴人

子孫持世喜盈々

中途有驚何須忌

迴首班頭福及門

脫袂辭官脫不成

三番兩次有虎驚

兼值秋冬三四月

唱散逢官始轉程

叔解錢根遇貴人

子孫持世喜盈々

中途有驚何須忌

迴首班頭福及門

脫袂辭官脫不成

三番兩次有虎驚

兼值秋冬三四月

唱散逢官始轉程

三千八百

五十五

吝

見

三千八百六十

凶

君問春蚕數也奇

頭眼平穩二眼佳

但看三眼無足忌

大眼防過十分吝

世劫應今先覺難

見官見貴莫心煩

亥卯未日方和合

從處為宜勿妄于

君問春蚕數也奇

頭眼平穩二眼佳

但看三眼無足忌

大眼防過十分吝

世劫應今先覺難

見官見貴莫心煩

亥卯未日方和合

從處為宜勿妄于

觀

三千八百七十

吉

越

三千八百八十

吉

福神德旺出官宜

見覺艱難後最喜

見後言詞多得意

虎頭蛇尾不須疑

君來起數告華堂

別立規模賽一興

生北朝南應大利

地靈人傑福非常

福神德旺出官宜

見覺艱難後最喜

見後言詞多得意

虎頭蛇尾不須疑

君來起數告華堂

別立規模賽一興

生北朝南應大利

地靈人傑福非常

六畜

一千一百

吉

意

一千二百

吉

數云牛馬甚相宜

管取成交沒是非

千里馬途今自樂

何須疑擬始施為

生意如同花正開

誰知遭雨又晴來

陽和氣轉排枝發

開花結子有財來

數云牛馬甚相宜

管取成交沒是非

千里馬途今自樂

何須疑擬始施為

生意如同花正開

誰知遭雨又晴來

陽和氣轉排枝發

開花結子有財來

四十一百

三十三十

負

財未

四十一百

吝

占墳之數且壽

世位盜官恐未知

牽後也知破耗多

不如別選始為奇

君問求財十位

恰如跨鶴上揚州

無望之中元有望

寅申巳午喜盈時

占墳之數且壽

世位盜官恐未知

牽後也知破耗多

不如別選始為奇

君問求財十位

恰如跨鶴上揚州

無望之中元有望

寅申巳午喜盈時

債

四十一百

海

物

六十六十

吉

放債君占有此數

鬼父臨應極貴

必放之時終易取

若還多了便蹉跎

取財占之數易完

只宜耐處莫心煩

寅申巳亥日去取

貴人賈取可周全

放債君占有此數

鬼父臨應極貴

必放之時終易取

若還多了便蹉跎

取財占之數易完

只宜耐處莫心煩

寅申巳亥日去取

貴人賈取可周全

清明

年

儼

四百

七十

肉

開

四百

八十

善

君曰借債主難艱

財落空亡惚恍然

再晚中人詳細說

縱然許你不周施

七月之數逢世財

開店曰不許你開

勿謂貨運難脫手

豈知否極泰將來

わが借債の難

財落空亡の惚恍然

再遅い中人の細い説

縱然許さず不周施

七月の月日逢世財

開店曰不許你開

勿謂貨運難脱手

豈知否極泰將來

狀

四百

二百

負

起

四十

二百

負

數占告狀主如心

應位逢官被受進

不必憂疑許前進

貴人明辨喜隨身

君來起數豎堂屋

兄弟之間有不睦

內申相處若調和

鼎立規禎事々足

たしやうのたしやう

おんがのたしやう

たしやうのたしやう

たしやうのたしやう

たしやうのたしやう

たしやうのたしやう

たしやうのたしやう

たしやうのたしやう

春

四百
三百
二十

吉

觀

四百
三百
二十

吉

來問春蚕數遇此

蚕多蚕少定然亨

但教大賸無冲犯

管取生錢化為金

出官數問遇既濟

進見回言要小心

若不小心觸刑耗

城隍許福保安寧

春蚕數遇此

蚕多蚕少定然亨

但教大賸無冲犯

管取生錢化為金

出官數問遇既濟

進見回言要小心

若不小心觸刑耗

城隍許福保安寧

德

四百
三百
二十

吉

謝

四百
三百
二十

悔

卸差脫役與辭官

此數占之便得安

忙然偷間得放逸

貴人當道喜多錄

數云許狀不知情

晴鬼投明未得明

等得秋時冬會到

文書有力辨前程

卸差脫役與辭官

此數占之便得安

忙然偷間得放逸

貴人當道喜多錄

數云許狀不知情

晴鬼投明未得明

等得秋時冬會到

文書有力辨前程

清明

三

見貴

四千二百七十

吉

解

四百二十八十

凶

見貴應知信有緣

應來生世喜相干

重々薦拔多財祿

賓主相投笑語歡

狀解錢粮忌有驚

還防隔角後相爭

冬令白之還可免

如逢春之脊傷刑

見貴應知信有緣

應來生世喜相干

重々薦拔多財祿

賓主相投笑語歡

狀解錢粮忌有驚

還防隔角後相爭

冬令白之還可免

如逢春之脊傷刑

問功

四百三十

凶

更

四百二十

吉

火天大有問功名

反覆其中不稱心

若果謀為再斟酌

莫教轉舉討憂驚

君台更改主如情

官鬼文書兩事明

蟻是先候終則吉

財官雙美好收成

火天大有問功名

反覆其中不稱心

若果謀為再斟酌

莫教轉舉討憂驚

君台更改主如情

官鬼文書兩事明

蟻是先候終則吉

財官雙美好收成

清明

三

進衛

君進衛門傍貴人

おのゝんよつておん

四千

數逢石此主欣々

うらべあつ

三百

直冲見合多如意

とまよひあつ

三十

日後成家福祿深

のらあつとま

吉

數之謀望主如心

のぞあつとま

望謀

夏令秋時福信增

あつあつとま

四百

有物噬之而後嗑

あつあつとま

四十

冬春占此愿惠驚

あつあつとま

半吉

謀差

未許遂君心

あつあつとま

四千

世位逢官忌有刑

あつあつとま

三百

成就終然無大利

あつあつとま

五十

不如守己莫胡行

あつあつとま

内

數占未濟子孫財

あつあつとま

四百

進口添丁實快哉

あつあつとま

三百

無論討及討叔母

あつあつとま

六十

定知福壽兩和諧

あつあつとま

吉

清明

半吉

家信

四百七十

真

求官

四百

木脚

夏時

家信せんしん沉埋ちんまい杳しょう不聞ふもん

謾勞まんらう卿故けいこ說せつ家音かおん

夏秋なつあき方かた許ゆる知し端たん的てき

目下めいげ越こ君きみ依よ桂けい心こころ

求もと官くわん起おこ數かず未な為な為な奇き

官鬼くわんき文ぶん書しよ兩りゆう見けん之し

木脚もくかく草頭そうとう人ひと取と力ちから

夏時なつとき秋あき令しやう至いた權けん威い

せんしんちんまいしょうふもん

manraukeigokosekakon

natsumakatakyutanden

meigeyokimikokoro

motokuanokidokuzunawaki

kungwenshuryouken

mokakusoutouhitotokori

natsumakishiyokeni

入贅

四百

財臨

只于

聞濕

雷地

君在

若然

日後

入い贅ぜい求もと婚こん事じ可か為な

財さい臨りん應おう位い好こう依よ婦ふ

只ただ于よ世せ位い文ぶん書しよ壯さう

聞き濕しつ花はな來き結むす子こ篩ふる

雷らい地ち豫よ數かず未な足た誇かう

君きみ在あ招まね婚こん有あ異い差さ

若ごと然う今いま日ひ團だん圍ゐ了し

日ひ後ご參さん商しやう定ぢやう不ふ佳か

いぜいもつこんじか

さいりんおういこうよぶ

ただよせいぶんさう

きしつはなきむすこふる

らいちよづかずなたかう

きみあまねこんあいにさ

gotouimadannishis

higoshisanyoujichou

精

五

壽 數 四 千 四 百 三 十 吉 兩 晴 四 千 四 百 吉

君問壽限數逢豐
共把長生酒數鍾
壽至古稀加三四
伯勞飛燕各西東
風生雲起雨淋漓
若問天晴應是遲
到底雨多晴日少
遇逢七九看何如

君問壽限數逢豐
共把長生酒數鍾
壽至古稀加三四
伯勞飛燕各西東
風生雲起雨淋漓
若問天晴應是遲
到底雨多晴日少
遇逢七九看何如

運 四 千 四 百 五 十 吉 舉 四 千 四 百 六 十 凶

久困當亨數甚明
君占命運命逢恒
祿旺財生夕歲始
東成西就任君行
妻財投世尅文書
科舉台之也當遲
策論三場無所阻
但防常道有無違

久困當亨數甚明
君占命運命逢恒
祿旺財生夕歲始
東成西就任君行
妻財投世尅文書
科舉台之也當遲
策論三場無所阻
但防常道有無違

清明

十五

清明

十五

學入 四 四 七 吉 考 四 四 八 善

奇哉小試喜超羣
入學白之穩許君
行遠外高必自通
管教日後躍龍門
君白考試沒文書
此際應知未遂機
官吏人排生喜悅
有子交卷有踈虞

ぐりんをやせけんり
らんてうらうらあり
かきかきせんせ
ののまをうま
ゆらり
おどおどん
のがわ
わ
るやんてうら
とらうら
けんけんけん

吉 二 二 五 四 吉 一 一 五 四 賢

求婚占數也為奇
二姓相爭最得宜
子吐方與有餘慶
勸君成事莫蹉跎
脫貨財浪有
數中遲更佳
青龍得吐相
何愁途路賒

たうとつて
スウカ
とらうら
けんけんけん
けんけんけん
けんけんけん
けんけんけん
けんけんけん

清

五

駁

四十

三十

善

置

四十

五十

吉

交易白之无天利

成交立契有稽遲

六父无鬼終成就

夏令秋時度可爲

子孫持世事宜成

置貨白之定称心

巳亥寅申財利旺

貴人得力喜相生

交易の白は天利なし

成契は遅れ稽あり

六親は鬼に終る成就す

夏秋の時は度可なり

子孫は世に事成り

貨物を白して定む心

巳亥寅申は財利に旺す

貴人は力を得て喜ぶ相生

野

四十

五十

善

娶

四十

五十

貞

六

子臨外敷旺妻財

孕音逢之主没灾

寅午戌日見分曉

是男難保女和胎

娶妾占逢敷伏藏

妻木不見子孫強

綠衣黃裏事顛到

免得傍人說短長

子臨外敷は妻財に旺す

孕音逢は主に災なし

寅午戌の日は分曉なり

是男難保女和胎なり

娶妾は占逢敷に伏藏あり

妻木は見えな子孫は強なり

緑衣黄裏は顛に到り

傍人の短長は得ず

清用

四

五十八

吉 四千五百七十

吉 四千五百七十

吉 四千五百七十

吉 四千五百七十

尋人路上遇此音

消息聞之勿信真

春隻二時休跋涉

秋冬方許獲伊人

君占和事喜君和

世應比和笑語多

涉慮傍人來詐說

原情假意賞奔波

くまぐらそらそら

しんぐらとくく

まじしんぐら

まじしんぐら

まじしんぐら

まじしんぐら

まじしんぐら

まじしんぐら

吉 四千六百一十

吉 四千六百一十

吉 四千六百一十

吉 四千六百一十

吉 四千六百一十

數之合夥問經營

子孫持世事和同

三人同心金可斷

利祿重々萬事通

此數問求醫

相生藥最宜

但交龍虎後

安寧福壽齋

あひまのうらうら

あひまのうらうら

あひまのうらうら

あひまのうらうら

あひまのうらうら

あひまのうらうら

あひまのうらうら

あひまのうらうら

病記

四千六百三十

吉

回

四千六百四十

吉

自身抱患不須憂

數有天醫福相周

可請東方醫者效

管教病退有何愁

欲問回卿如君願

只防伴侶有嫌爭

喜有貴人來取力

管教平穩到家庭

自身抱患不須憂
りまきしうり
ふさやまきりて
こいあす

數有天醫福相周
ひぐのあまの
よのせり
やういりぞき
ふいり

可請東方醫者效
ひぐのあまの
よのせり
やういりぞき
ふいり

管教病退有何愁
ひぐのあまの
よのせり
やういりぞき
ふいり

欲問回卿如君願
ひぐのあまの
よのせり
やういりぞき
ふいり

只防伴侶有嫌爭
ひぐのあまの
よのせり
やういりぞき
ふいり

喜有貴人來取力
ひぐのあまの
よのせり
やういりぞき
ふいり

管教平穩到家庭
ひぐのあまの
よのせり
やういりぞき
ふいり

人行

四千六百五十

吉

守

四千六百六十

悔

君來起數問行人

黃犬青鸞帶信音

伯叔父母看子女

子孫伴僕看寅申

君占守舊問神明

數值冲天白虎臨

守舊之時多禍患

遷之福壽一齊與

君來起數問行人
まひんせうじん
うま

黃犬青鸞帶信音
あつしんせうりく
たりのあり

伯叔父母看子女
おら又りやぬのい
いのりよきり

子孫伴僕看寅申
しんせんとんせう
のりり

君占守舊問神明
まひんせうじん
とふ

數值冲天白虎臨
けのんあ
まのやまきり

守舊之時多禍患
まのやまきり
わきり

遷之福壽一齊與
うつてふくじゆ
まきり

清明

五十九

家宅

四千六百七十

吉

失脫

四千六百八十

凶

家宅平々没是非

安心忍耐是便宜

福神徳旺何須忌

秋時冬令福神帰

失脱財物欠複祥

賊人當道喜洋洋

命主失財君莫怨

須知財物落空亡

家のりかやせ
うらふ

んかん

のら

うら

やと

うら

うら

あふ

妻病

四千七百一十

凶

買

四千七百二十

吉

妻病之數主不吉

鬼火持世防家疾

柳且重逢兄弟傷

夏令一至見悲泣

久積賁跌買屋由

知君得此甚方圓

成欠之後與隆起

見孫昌再福綿々

つよのちひい

家のうら

うら

うら

うら

うら

うら

うら

吉 四十 七百 三十 吉 四十 七百 四十 吉

子イ女ニ星ホ辰ニ洵ニ有リ之レ
時ト寒ク時ト熱ク血ト先ト臨ム
若シ要ス平ク安ク君ト作ス福ト
妙ク資シ神カ力ヲ共ニ扶テ持テ
數ヲ問フ移リ居ル任シ意ヲ爲ス
六ノ爻ノ无ク鬼ノ事ヲ无ク慮ス
妻ト才ヲ持テ世ヲ財ヲ星ヲ旺ク
移リ去リ須ク知ル福ヲ祿ヲ餘ヲ

子イ女ニ星ホ辰ニ洵ニ有リ之レ
時ト寒ク時ト熱ク血ト先ト臨ム
若シ要ス平ク安ク君ト作ス福ト
妙ク資シ神カ力ヲ共ニ扶テ持テ
數ヲ問フ移リ居ル任シ意ヲ爲ス
六ノ爻ノ无ク鬼ノ事ヲ无ク慮ス
妻ト才ヲ持テ世ヲ財ヲ星ヲ旺ク
移リ去リ須ク知ル福ヲ祿ヲ餘ヲ

吉 六十 七百 四十 吉 四十 七百 四十 吉

類ノ々々家ノ鬼ノ寺ノ家ノ人ノ
除キ是レ分ヲ開キ得ル太ク平ク
目ヲ下シ要ス分ヲ々々不ク得ル
耐シ心ヲ將テ就テ待テ來ル春ノ
買フ田ノ之ノ數ヲ以テ爲ス高ク
福ヲ相シ隆ク々々没ク是レ非ト
糧ヲ少ク差シ輕ク有リ利ヲ息ヲ
勸メ君ト成ス此レ勿ク狐ノ疑ヲ

類ノ々々家ノ鬼ノ寺ノ家ノ人ノ
除キ是レ分ヲ開キ得ル太ク平ク
目ヲ下シ要ス分ヲ々々不ク得ル
耐シ心ヲ將テ就テ待テ來ル春ノ
買フ田ノ之ノ數ヲ以テ爲ス高ク
福ヲ相シ隆ク々々没ク是レ非ト
糧ヲ少ク差シ輕ク有リ利ヲ息ヲ
勸メ君ト成ス此レ勿ク狐ノ疑ヲ

清明

病

四百七十

吉

病

四百七十

負

兄弟火星唧々嗽

福神臨應不須愁

巳酉丑日得魁息

神前了愿早應酬

子台父母應星辰

管取逢酉轉太平

須禱福并謝神土

日逢巳酉可安寧

兄弟火星唧々嗽

福神臨應不須愁

巳酉丑日得魁息

神前了愿早應酬

子台父母應星辰

管取逢酉轉太平

須禱福并謝神土

日逢巳酉可安寧

求

四百八十

吉

天

四百八十

吉

不極須知有未來

君台求子信无来

前裡尅過終須在

戌子流年育貴孩

子女天花不必疑

世位逢兄父莫憂

寅午戌日漸々好

神前福愿可祈求

不極須知有未來

君台求子信无来

前裡尅過終須在

戌子流年育貴孩

子女天花不必疑

世位逢兄父莫憂

寅午戌日漸々好

神前福愿可祈求

清明

卷三

飲事 四百八十 三百三十 害 種 四百八十 四百 吉

子孫臨應來傷世
婦結官司主大平
先則纏延後退散
貴人當道喜原情
種田只許半收成
雨少晴多車不停
早稻平々脫稻勝
後來方曉數通靈

子孫の臨應に來りて世を傷む
婦の結ぶ官司の主は大平
先づ纏延し後退散
貴人の當道に喜ぶ原情
種田は只半の收成
雨少晴多車不停
早稲平々脱稻勝
後來方曉數通靈

夜夢紛々心事多
不須來問數如何
若能安靜无煩惱
自是神安寐寐和
是非口舌隄防甚
破耗刑傷有一場
凡事安心休聞勇
退藏一步保安康

夜夢紛々心事多
不須來問數如何
若能安靜无煩惱
自是神安寐寐和
是非口舌隄防甚
破耗刑傷有一場
凡事安心休聞勇
退藏一步保安康

夜夢の紛々心事多
不須來問數如何
若能安靜无煩惱
自是神安寐寐和
是非口舌隄防甚
破耗刑傷有一場
凡事安心休聞勇
退藏一步保安康

四
八十
百
千
行
世
吉
七
十
百
千
行

<p>此數教君緩々行</p>	<p>徒然跋渉无多利</p>	<p>鬼父臨應有麗驚</p>	<p>君問出行不稱心</p>	<p>賓主相投學業多</p>	<p>子孫持世生財樣</p>	<p>數占圓館實安和</p>	<p>父母重々東道多</p>
----------------	----------------	----------------	----------------	----------------	----------------	----------------	----------------

<p>ゆるゆるとゆる</p>	<p>ゆるゆるとゆる</p>	<p>ゆるゆるとゆる</p>	<p>ゆるゆるとゆる</p>	<p>ゆるゆるとゆる</p>	<p>ゆるゆるとゆる</p>	<p>ゆるゆるとゆる</p>	<p>ゆるゆるとゆる</p>
----------------	----------------	----------------	----------------	----------------	----------------	----------------	----------------

来

